

一 生い立ち・小学校・中学校のころ

私は明治二十八年八月十二日、長崎市本大工町五十三番地で生まれました。残念ながら私の生まれた家は今はありません。私の生まれた家を中心として、十数軒の家一帯をこわして長崎税務署が建っています。その後税務署は他に移転し、今は十階位のビルが建っています。私が生まれた家や庭は跡かたもなくなってしまうと、誠に残念なことであります。

私の家の裏には五十坪位と十五坪位の庭がありました。大きいほうの庭は趣のある庭でした。大小十枚位の敷石がきれいに敷いてありました。家の座敷から庭を見ると、向こうの方は土を盛り上げて小さい山にしてありました。そして庭の周囲には松、竹、椎の木、夾竹桃、シユロ、ツワブキ、それから梅などが植えてあり、スミレが咲き、小さい池もありましたが、子供のときはよい遊び場でした。小さいほうの庭にはイチジクの大きなのがあり、たくさん実がなるのでとても楽しいものでした。

また表の門のところには大きな松の木があり、それから入口まで十間ぐらいの間、敷石が敷いてあり、入口近いところには大きな椎の木がありました。税務署になっていたとき、かつて庭にあった木や竹が残っていないかを見て回ったことがあります。竹とイチジクがりましたが、それは税務署の人があとで植えたとのことでした。